

厚生環境委員会県内視察報告

1 調査日

令和8年2月10日（火）

2 出席委員等

藤井 大輔委員長、横田 誠二副委員長、五十嵐 務委員、瘡師富士夫委員、川島 国委員、亀山 彰委員、針山 健史委員
（その他、地元議員、執行部が参加）

3 調査の概要

（1）富山県薬事総合研究開発センター

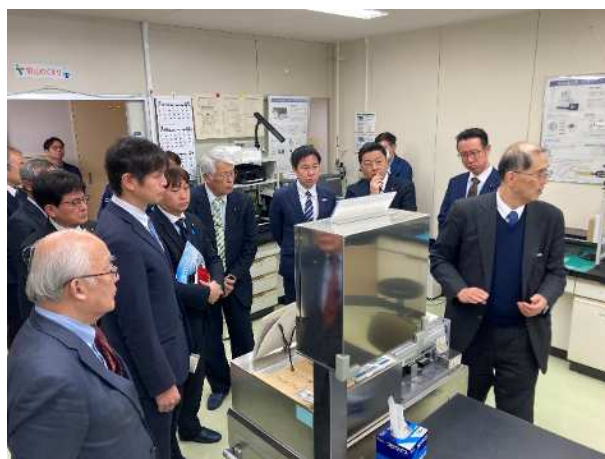
調査項目：「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムの活動実績及び今後の展望

内 容： コンソーシアム事業責任者より、産学官連携による「くすりのシリコンバレーTOYAMA」の活動について説明を受けた。研究開発分野の成果として、小児用製剤（ミニタブレット）や、製造した医薬品が無菌であるかどうかの判定時間を大幅に短縮する迅速無菌試験キット、効果の高い経鼻投与型ワクチンを実現する粘膜アジュバントの開発事例が報告された。

また、製造現場のDX化や患者負担を減らす分散型臨床試験への挑戦に加え、全国から学生を呼び込む実践的な人材育成プログラムや、県内外企業のマッチング支援など、富山の薬業基盤を強化する多角的な取り組みについて説明を受け、その後施設見学を行った。



集合写真



施設見学の様子

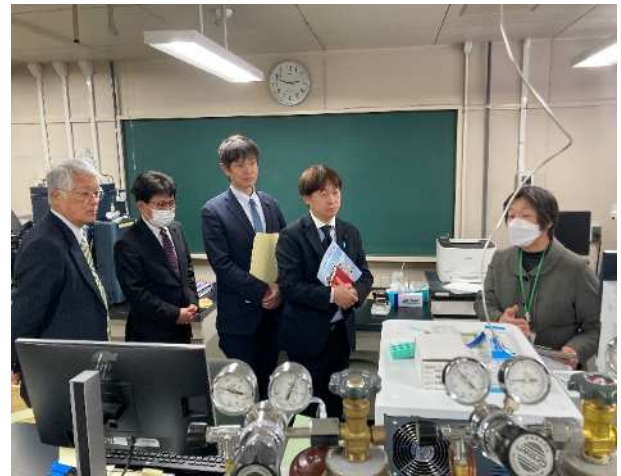
(2) 富山県衛生研究所

調査項目： コロナ後の感染症対策について

内 容： 新型コロナは小規模な流行が続き、現在はB型インフルエンザが警報レベルにある等の現状報告があった。続いて、法改正により健康危機管理の科学的かつ技術的な中核機関と位置付けられた同所の概要や、今年度から開始された急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスによる病原体監視体制の強化について説明を受けた。また、高度専門人材の確保や施設老朽化等の課題について聴取し、その後施設見学を行った。



集合写真



施設見学の様子



質疑応答の様子